

平成29年度 全国中学校体育大会  
**第39回 全国中学校軟式野球大会**  
 「感動! 夢舞台!! 絆をつなげ 九州の地で!」



【準決勝】白老町立白翔中学校(北海道:北海道) 対 仙台育英学園秀光中等教育学校(東北:宮城県)

**白翔中 継投策が功を奏し、1点差を守りきる!**  
**秀光中 再三の好機を生かせず初回の2失点に泣く!**

【平成29年8月20日(日) KIRISHIMAサンマリスタジアム宮崎 第3試合】

試合開始 14:00 試合終了 16:17 試合時間 2時間11分(中断6分)

チーム名		1	2	3	4	5	6	7					計
白翔	北海道	2	0	0	0	0	0	0					2
秀光	宮城県	0	0	1	0	0	0	0					1

球審 [瀬戸山] 塁審(一) [黒田] 塁審(二) [吉田] 塁審(三) [佐藤]  
 ◆バッテリー  
 (白) 根本、人見、波多、根本一鈴木  
 (秀) 杉山一木村  
 ◆二塁打  
 ◆三塁打  
 ◆本塁打

【試合経過】

2時間を越える熱戦を制したのは、初回到2点を先制した白翔中だった。1回表、白翔中は、1番宮下君が二塁手左への内野安打で出塁し、無死一塁。2番人見君の内野ゴロは敵失となり無死一・二塁。さらに3番根本君が四球を選び無死満塁の先制機。ここで4番小西君の打球は中前適時打となり2点先制した。なおも無死一・二塁と攻めたが、秀光中の杉山君は、後続を三振・併殺で切り抜けた。対して秀光中は、3回裏、白翔中の投手交代の隙を見逃さず、1番木村君が四球で出塁し無死一塁。続いて2番小熊君の中前安打で無死一・二塁。次打者三振の際に木村君が三盗、一死一・三塁とする。続く4番宮本君の内野ゴロの間に三塁走者が生還し1点を返すも、後続が倒れ1点に終わる。4回以降、1点差を追う秀光中は、毎回走者を出すのが白翔中の好継投と堅い守りに得点をあげることはできなかった。



【決勝点となる中前適時打を放つ白翔中小西君】



【監督談話】 白老町立白翔中学校

阿部 拓実 監督

試合を終えて信じられないの一言。選手が欲を出さず、チャレンジャー精神でぶつかった結果が良かった。守備のエラーもなく、崩れなかったことが勝因だと思う。チームの意識として野球を楽しむこと。やらされる練習ではなく、自ら努力する姿勢を育ててきた。明日は優勝を目指し、全力で“エンジョイベースボール”を貫いてほしい。

【監督談話】 仙台育英学園秀光中等教育学校

須江 航 監督

自分たちがやりたかった丁寧な野球をするという面で相手の方が上だった。最後の試合で、これまで大切にしてきたことが抜けてしまったことは、今後の人生の教訓にしてほしい。白翔中がこの1年間、高い目標をもって創り上げてきた野球は素晴らしく、試合中でのマネジメントや決断力、意識の持ち方が勝者にふさわしく思えた。

【7回完投し好投した秀光中杉山君】

白翔	打数	得点	安打	打点	犠打	四死	盗塁	三振
④ 宮下 彪彦	3	1	2	0	0	0	1	0
⑥16 人見 純矢	3	1	0	0	0	0	0	0
①71 根本 悠楓	2	0	1	0	0	1	1	0
③ 小西 徹	3	0	1	2	0	0	0	0
⑤ 宮田 瑠夏	3	0	0	0	0	0	0	2
② 鈴木 周羽	3	0	0	0	0	0	0	2
⑦617 波多 悠汰	3	0	0	0	0	0	0	0
⑧ 村上駿太郎	3	0	0	0	0	0	0	3
⑨ 樋江井啄真	2	0	0	0	0	0	0	0
計	25	2	4	2	0	1	2	7

秀光	打数	得点	安打	打点	犠打	四死	盗塁	三振
② 木村 航大	3	1	0	0	0	1	1	1
⑥ 小熊慎之介	4	0	1	0	0	0	0	0
① 杉山 歩海	4	0	0	0	0	0	0	1
⑨ 宮本 拓実	4	0	2	1	0	0	0	0
⑧ 島貫 丞	1	0	0	0	0	3	0	1
R 伊藤 樹	0	0	0	0	0	0	0	0
⑤ 八巻 真也	3	0	0	0	0	1	0	1
⑦ 澤田昂志郎	1	0	0	0	0	1	0	0
7 今野 直幸	1	0	0	0	0	0	0	1
③ 笹倉 世風	3	0	1	0	0	0	0	1
R8 大椿 響生	0	0	0	0	0	0	0	0
④ 平松 秀児	1	0	0	0	0	2	0	1
計	25	1	4	1	0	8	1	7

投手氏名	回数	打者	投球数	安打	四死	三振	失点
根本 悠楓	2回	9	49	1	2	4	0
人見 純矢	1回	6	35	1	2	2	1
波多 悠汰	2回	9	50	1	2	0	0
根本 悠楓	2回	9	49	1	2	1	0

投手氏名	回数	打者	投球数	安打	四死	三振	失点
杉山 歩海	7回	26	100	4	1	7	2

